

【飼料作物】の【長雨・日照不足】対策について

<7月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【飼料作物】

(1) 予想される被害状況

- ・長大作物（飼料用トウモロコシ、ソルガム類）の収量減
- ・暖地型牧草（ローズグラス、ギニアグラス、スーダングラス等）の収量減

(2) 事前対策

- ・長期間の冠水により湿害が予想されるので、ほ場周辺に排水溝を設置し水が貯まりにくいようにする。

(3) 事後対策

- ・冠水した場合は速やかに排水するとともに、水が引いた後、10aあたり窒素成分で1kg程度の追肥を行う。
- ・飼料用トウモロコシの二期作目の作付け準備（施肥管理、品種選定）を確実に行う。